

事業名：「JAAF REFORM推進事業」

事業立案の背景・課題

2022年2月に発表した本連盟中長期計画「JAAF REFORM」の陸上界のあるべき姿として『**未来に輝く人材育成と感動体験の提供**』を掲げています。
「**陸上**」が**社会に良い影響を与えられるよう、もっと身近で幅広い「陸上」に親しんでもらうこと**を理想としており、本事業助成を通じて「実現したい未来」に近づけるような事業を展開することを背景としています。

また、これまで重視してきた競技力向上のみならず、**ウェルネス陸上の実現**や「陸上」に関わってよかったと思えるような**環境整備・人材育成**を充実させていくこと、そして**先進的に事業を展開し、本連盟として成長し続けること**も含め、今後の課題として挙げられます。



事業・取組内容

JAAF PROTEIN 大会エントリー/記録情報プラットフォーム構築

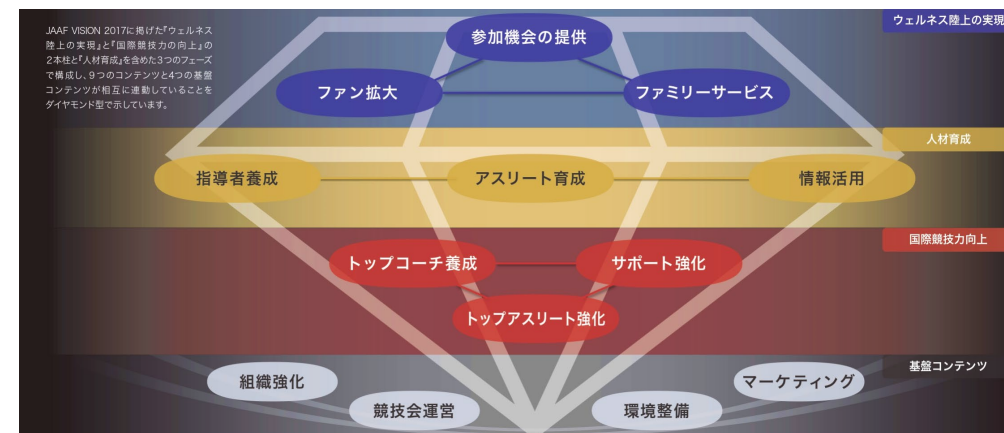
- 会員管理サービスシステムを一新し、登録会員と記録・ライフログを紐づけし、大会エントリーシステムのプラットフォームを構築することにより、大会管理や講習会イベント管理・募集をシステム化する。

JAAFオフィシャルライブ配信/映像制作

- 陸上ファンが選手のパフォーマンスを観戦できるライブ感を味わうことができ、観ている人に感動や心を動かすコンテンツになるよう、臨場感や迫力のある映像配信を行う。

キッズデカスロンチャレンジ普及事業

- 陸上の多種目コンテンツを生かし、アスレティック要素を楽しむことができる「キッズデカスロンチャレンジ」イベントを実施し、体を動かす楽しさや、スポーツに興味を持ってもらうきっかけづくりを行う。



◇今年度の成果と課題

<成果>

- 2023年度から導入する新しい会員管理サービスの準備と共に、会員情報を基にした大会エントリーと競技記録の紐づけが出来るよう「陸上」の特性に合わせたカスタマイズができた。
- 各大会や事業のライブ配信やイベント・企画の映像制作を行い、「陸上」の魅力を発信することができた。
- 大会でのデカスロンブースで、子ども達に「陸上」の楽しさを肌で感じてもらうことができた。

<課題>

- 会員管理サービスを有効活用した収益化を進めていく必要。
- アスレティックファミリー拡大するための方法とアプローチを工夫し、充実させることが必要。
- 開催しやすいイベント事業や人材育成が必要。

◆生じた課題に対する対応策

<対応策>

- 会員管理システムのログイン情報を活用した会員向けサービスを充実させ、配信動画視聴層のデータ活用やサービスコンテンツの有料化、チケットやグッズの販売等、収益化に繋げていく。
- より「陸上」に興味を持ってもらえるよう、する人・みる人・支える人や「陸上」をつくる人・つなぐ人など、それぞれの立場で必要としている情報を随時提供し、する人がみる人に、みる人がささえる人になるような発展性を生み出せるよう、継続的に「陸上」に関われる環境を整備する。

◇◆来年度に向けて

社会情勢の変化や陸上界の期待・要望・課題などに対し、軸を持ちながら柔軟に対応できる組織を目指します。また、財政基盤やガバナンス力を維持向上し続け、日本の陸上界が大きく社会に貢献できる体制を整え、高い信頼性の保持と、組織の成長をし続けられるよう、組織力向上を推進します。

本年度準備を進めてきた会員管理事業について、来年度運用を開始し、映像配信やイベント開催・管理等を一元化し、サービス拡充やマーケティングに活用していくことで、先進的事业やアスレティックファミリー拡大に繋げていきたい。

日本陸上競技連盟中長期計画「JAAF REFORM」で目指すもの

中長期計画の
目指すもの



未来に輝く人材育成と、
感動体験の提供を目指して

JAAF 中長期計画
REFORM
新たなステージへの挑戦

- ★「陸上」を通じて、社会に良い影響を与えたい！
- ★多くの人に感動体験を提供したい！
- ★競技力のみならず、社会で幅広く貢献できる人材を輩出したい！
- ★もっと身近で幅広い「陸上」に親しんでもらいたい！



社会的価値向上

『アスレティックファミリー拡大』を目指した事業

本助成事業ではJAAF VISIONである『アスレティックファミリー拡大』を目指した事業を実施。

より身近で気軽に「陸上」に触れる機会の提供や、多くの感動体験を通じて、前向きで充実した生活を継続できる環境づくりをしていきます。

アスレティックファミリーのためのプラットフォームを構築し、ライフログ蓄積や情報提供サービス充実を目指します。

本助成実施事業

JAAF PROTEIN 大会エントリー/記録情報プラットフォーム構築

JAAFオフィシャルライブ配信/映像制作

キッズデカスロンチャレンジ普及事業

JAAF REFORMを通じ、JAAF VISION 2017を具体化する

2017年に発表した「JAAF VISION 2017」において、国際競技力の向上「トップアスリートが活躍し、国民に夢と希望を与える」、ウェルネス陸上の実現「すべての人がすべてのライフステージにおいて陸上競技を楽しめる環境をつくる」というミッションを掲げ、下記のビジョンを定めました。

JAAF VISION

| | |
|--------------------------|--|
| 2028年に 世界のトップ8 | 2040年に 世界のトップ3 (アジアのNO.1) |
|--------------------------|--|

入賞の得点合計で争うプレイングテーブルで、日本は2016年リオオリンピックでは25位。2028年に世界のトップ8、2040年に世界のトップ3（アジアのNo.1）を目指して、アスリートの育成・強化を推進します。

| | |
|--|--|
| 2028年に アスレティック ファミリー 150万人 | 2040年に アスレティック ファミリー 300万人 |
|--|--|

陸上競技・ファンニングを楽しんでいる人口を2040年に2,000万人にすることを目指します。そのために、アスレティックファミリー（競技会参加者、審判、指導者）を2028年に150万人に、2040年には300万人に拡大させることを目指します。

このJAAF VISION 2017をより具体化するため、JAAF REFORMプロジェクトを通じて、新たなステージで挑戦するための中長期計画を策定しました。今後未来に向かって輝き続ける日本の陸上界を持続的に発展していくため、より具体的なアクションプランを掲げ、「未来に輝く人材育成と感動体験の提供」を目指します。



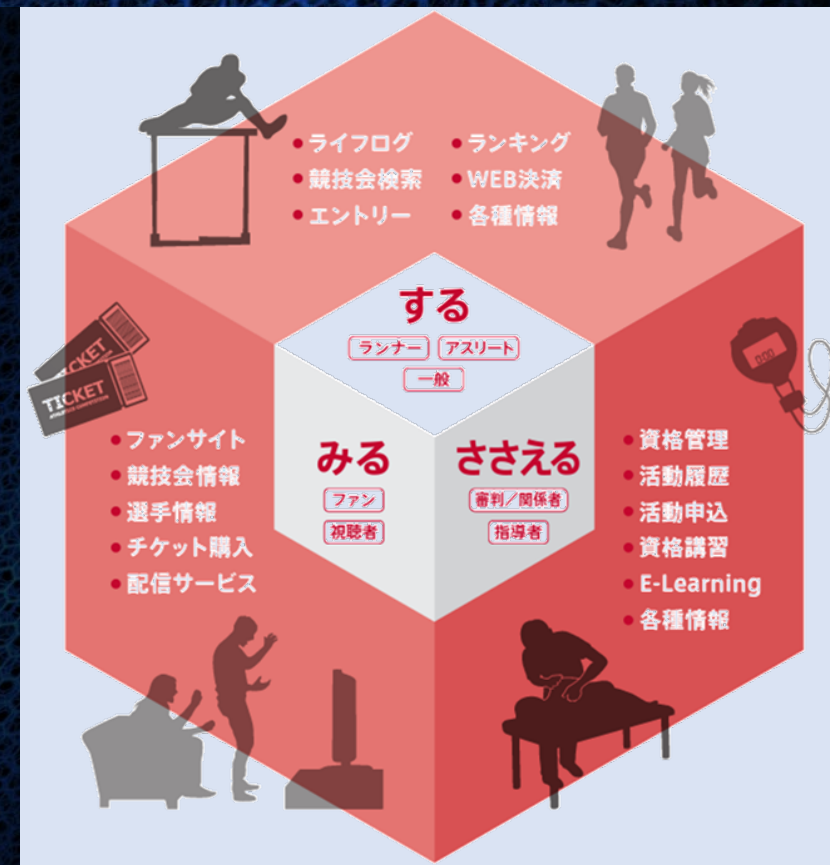
JAAF PROTEIN 大会エントリー/記録情報プラットフォーム構築

本連盟は2023年度から新しい登録管理システム導入と共に、**登録情報に基づいた大会エントリーと記録情報の蓄積**を行い、会員のライフログとして提供します。

このプラットフォーム構築を *Promotion of Technological Innovation* の頭文字で、**JAAF PROTEIN**と呼んでいます。

JAAF PROTEINの構築・充実させることにより、大会管理や講習会・イベントなどの各種募集をシステム化し、登録会員情報との連動による参加資格や資格審査の自動化、決済システムによる入金処理など、**スムーズな運営が可能になり**、都道府県協会の業務改善を行います。

また、大会チケットや商品の販売、動画配信等、**様々なサービス**を展開し、各種情報を基にした**マーケティング活動**を展開予定。



Keep Challenging to the

Next Stage

JAAF PROTEIN 大会エントリー/記録情報プラットフォーム構築

大会運営支援・記録管理システム

会員/団体向け機能

| | |
|-------------------|----------------|
| 競技者/団体向け マイページ | 競技会/記録 検索照会 |
| 競技会エントリー 参加費支払 | 審判活動履歴 |

競技会管理・運営支援

| | |
|-------------------|----------------------|
| 競技場/大会公認 申請・承認 | 競技会情報/結果 登録・更新・追加 |
| 出場選手管理 参加費入金確認 | 審判派遣調整 |
| 出場選手情報連携 | 記録登録連携 |

記録管理

| | |
|-------------------------|---------|
| World Athletics 記録連携 | 記録申請・承認 |
| ランキングサービス | マイページ連動 |

記録
データ

審判活動
データ

競技会
データ

競技会
エントリーデータ

競技場
データ

参加費入金
データ

API連携

会員・団体
DB

登録管理システム

会員/団体登録管理

| | |
|---------|--------------|
| 登録申請・承認 | 登録料決済 |
| 資格管理 | 登録情報 権限管理 |

サービスコンテンツ

| | |
|------------|----------------|
| マイページ | 電子チケット |
| メール配信 | イベント・講習会 管理 |
| E-Learning | 物販 |



【事業実績】

- 大会エントリーシステム:(株)スポーツエンターテイメントアソシエイツとphase1要件定義_2023年3月システム開発完了予定。
- 登録会員システム:大日本印刷(株)の登録会員システム基盤を本連盟用にカスタマイズ_2023年2月にカスタマイズ完了予定。
- その他記録情報サービス/ポイントランキング作成(第68回全日本中学校通信大会/2022年全国高校リモート陸上大会)

JAAFオフィシャルライブ配信/映像制作

コロナ禍で観戦が出来なかった時期の影響も踏まえ、少しでも選手のパフォーマンスをライブで観戦でき、観ている皆様に**“感動体験の提供”**ができるよう、心を動かすコンテンツ、**臨場感・迫力ある映像配信**を目指しています。

この配信を通じて、**新たな「陸上」ファンの獲得**や**会員サービスの充実**、さらには**配信権利の販売**などによる**収益事業化**も生み出していき、今後、**会員情報と連動**させた収益事業化に向けて、本年度の取り組みからステップアップしていきます。



第106回 日本陸上競技選手権大会
JAAF Athletics Championships
2022.6.9-12 OSAKA 2022

#ナンバーワンしかいない

1日目 ライブ配信実施! ㊤

メインチャンネルの配信予定

| | |
|-----------|---------------|
| 6月9日 (木) | 競技開始～18:00頃まで |
| 6月10日 (金) | 競技開始～18:30頃まで |
| 6月11日 (土) | 競技開始～15:30頃まで |
| 6月12日 (日) | 競技開始～15:30頃まで |

会場 ヤンマースタジアム長居 (大阪)

【ライブ配信】第106回日本選手権・1日目 (メインチャンネル)

日本陸上競技連盟 (日本陸連、JAAF)

優勝 園田 世玲奈 NTN

| 35km男子 Finish | | 35km女子 | 33km通過時点 | 20km 男子Finish/女子Finish | |
|---------------|-----------------|--------|-----------|------------------------|-------------------|
| 1 | 8川野 翔虎 2:26:40 | 1 | 51 園田 世玲奈 | 男子1 | 31 池田 向希 1:18:53 |
| 2 | 5 松永 大介 2:27:09 | 2 | | 男子2 | 32 高橋 英輝 1:19:16 |
| 3 | 6 野田 明宏 2:27:18 | 3 | | 男子3 | 33 藤方 元郁 1:23:46 |
| 4 | 1 丸尾 知司 2:29:19 | 4 | | 女子1 | 61 藤井 菜々子 1:29:29 |
| 5 | 3 勝木 隼人 2:30:41 | 5 | | 女子2 | 62 岡田 久美子 1:29:31 |

TIME 2:45:51

★ライブ配信★【第106回日本陸上競技選手権大会・35km競歩】～オレゴン2022世界選手権20km競歩日本代表選手選考競技会～

日本陸上競技連盟 (日本陸連、JAAF)

【事業実績】

- 第106回日本陸上競技選手権大会 ライブ配信(2022年6月9～12日) 合計再生回数1,089,060回
- 第106回日本陸上競技選手権・混成競技 ライブ配信(2022年6月4～5日) 合計再生回数 127,472回
- 第106回日本陸上競技選手権大会・35km競歩 ライブ配信(2022年4月17日) 合計再生回数 16,595回

キッズデカスロンチャレンジ普及事業

本連盟中長期計画「JAAF REFORM」で掲げた
誰でも楽しめる『参加機会の提供』として、
「陸上」の魅力に触れる機会や楽しさを提供することで、
身体を動かすことに充実感があるスポーツ活動を通じ、
様々な立場で関わり続ける“入り口”を意識しています。

アスレチックファミリーとして、大人になっても「陸上」に関わり、
「陸上」の楽しさを繋げていく“きっかけ”になるような
普及事業を展開しています。



【事業実績】

- セイコーゴールデングランプリ陸上2022東京(2022年5月8日)
- 第106回日本陸上競技選手権(2022年6月9～12日)
- みんなでつなごうリレーフェスティバル2022(2022年10月1～2日)

今年度の成果・課題と来年度に向けて

今年度の成果

新しい会員管理サービスの準備と共に、会員情報を基にし、「陸上」の特性に合わせた大会エントリー・記録サービスの開発ができた。

ライブ配信やイベント、企画の映像制作を行い、「陸上」の魅力を発信することができた。大会ブースで、子ども達に「陸上」の楽しさを肌で感じてもらうことができた。

今後の課題

構築したエントリー記録サービス・会員管理サービスを有効活用した収益化、アスレチックファミリー拡大のためのアプローチの工夫、開催しやすいイベント事業の充実と人材育成。

来年度に向けて

構築したエントリー記録サービス・会員管理サービスについて来年度運用を開始し、会員情報を基にした大会エントリーや各種サービスの一元化を目指します。

また、サービス拡充やマーケティングに活用し、具体的にはライブ配信や映像の権利販売等で収益化を目指します。

今後、先進的事業や更なるアスレチックファミリー拡大に繋げていきます。

